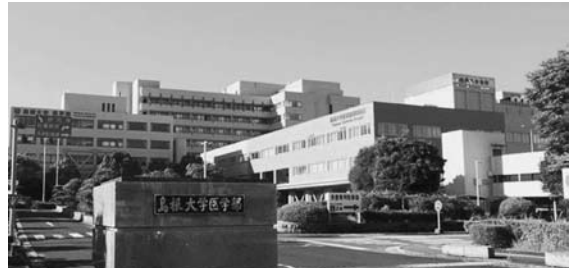


島根大学医学部附属病院腎臓内科

伊藤 孝史 (診療教授)
Takafumi ITO

<http://www.shimane-u-internal4.jp/>



◆ 沿革 ◆

島根大学医学部がある出雲市は、出雲大社をはじめとして豊かな歴史、文化、自然が共存する町です。1975年10月1日に島根医科大学が設置され、1979年4月1日に医学部附属病院が設置されました。そして、2003年に島根大学との統合で島根大学医学部附属病院と名称変更をして、現在に至っています。

開校当初腎臓内科はなく、内科の各講座で診療をしてきました。1993年6月に高島利一先生が内科学講座内科学第四の教授として赴任され、高血圧・腎臓内科の診療が始まりました。2005年4月に伊藤が広島大学から赴任し、2007年7月にそれまでの呼吸器・腎臓内科から腎臓内科が独立・設置されました。2008年3月に高島教授が退官され、4月から伊藤が診療科長となり、新たなスタートを切りました。5月1日からは島根大学医学部内科学講座内科学第四教授に就任した田邊一明教授のご高配により内科学第四の同門となり、循環器内科とともに日々研鑽しております。

伊藤が島根大学に赴任してからの3年間入局者はありませんでしたが、新体制になってから徐々に医局員が増えており、若手中心の活気ある診療科になっています。

◆ 診療 ◆

島根大学医学部附属病院腎臓内科（以下、当科と略す）は、診療科長の伊藤を中心に5～7名の腎臓内科医師、さらには切れ間なくローテーションしてくれる初期研修医1～3名で診療を行っています。

1. 外来

現在は月曜日午後、火曜日終日+午後、金曜日終日+午後隔週、腹膜透析外来（PD外来）を行っています。検尿異常から保存期腎不全、急性腎障害、電解質異常、腹膜透析まで幅広く診療を行っています。島根県内の医療機関からの紹介も年々増加しており、今後は毎日診療ができる体制を整えていきたいと考えています。腹膜透析に関しては、十分な診療時間が確保できるようにPD外来を設置し、10名前後を診療しています。

2. 入院

現在、当科のベッド数は10床ですが、入院実績に応じて8～12床で変動しています。腎生検は年間40～50例程度で、主治医を中心に病理組織を確認し、臨床経過等の情報をもとに検討会を行い、診断、治療方針の決定を行っています。膠原病内科から紹介を頂いた全身性エリテマトーデ